【別紙様式3】

再評価実施事業調書

番号	3	3	事為	美名	土地	整理事	業	路線	路線又は箇所名等				柏 北部中央地区					
事	業	所	管	課	市	街地	整備課		事	業	主	体			千	葉県	Į.	
事業化年	丰度		H11		用地着手	年度	-			手年度 (認可)年度		H14 R4		再評	価の理	由	再々	?評価
費用便			1. 8 (2. 6)	糸	総費用		40 億円 7 億円)	総	便益	,	94 億 66 億	-	基	準年	R1		地処分 手度	R4

※上段:全体事業 下段():残事業

【事業概要】

本事業は、平成元年に制定された「大都市地域における宅地開発及び鉄道整備の一体的推進に関する特別措置法(宅鉄法)」に基づき、つくばエクスプレスの柏の葉キャンパス駅を中心とした柏北部中央地区において、鉄道と一体となった利便性の高い市街地の形成を目指し、千葉県が施行主体となって進めているものである。

【事業の進捗状況】(令和元年度末見込み)

	計画事業量	事業進捗量	進捗率
総事業費	963.0億円	672.3億円	約 70%
建物移転	247 戸	187 戸	約 76%
整備着手	272. 9ha	217. 3ha	約 80%

※整備着手=整備済+整備中

【社会経済情勢等】

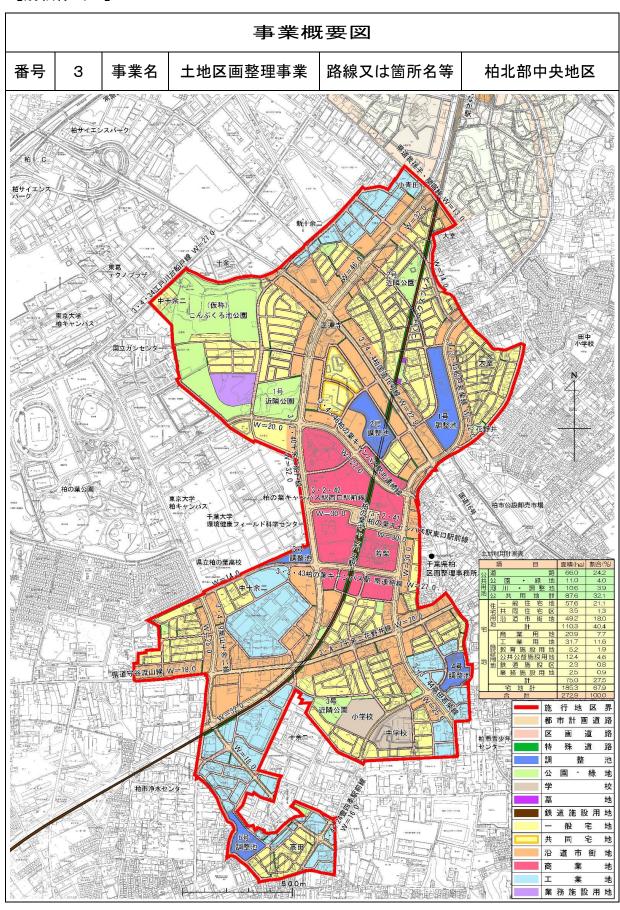
- ① 柏の葉キャンパス駅は、つくばエクスプレスで秋葉原駅と30分で結ばれており、1日当たりの平均乗車 人員は、H17年開業時の約3,900人からH31年度には約18,600人と約4.8倍に伸びている。
- ② こうした中、つくばエクスプレスの開業以降、柏市の人口はここ 10 年で約 28,000 人増加し、本地区内の人口も約7,000 人増加している。
- ③ 整備が完了した駅周辺や幹線道路の沿道等において、商業施設、医療・福祉施設及び住宅等の立地が進んでいる。

【対応方針(案)】

- 〇費用便益費 (B/C) は事業全体として「1.8」、残事業としては、「2.6」であり、いずれも「1.0」を超えていることから、事業の投資効果が見込めること。
- ○駅周辺等において、商業、医療・福祉、住宅等の土地利用が進んでおり、利便性の高い市街地の形成及び、 地域経済の活性化が見込まれること。
- 〇地区全体の約8割の区域で整備に着手しており、また、建物移転も全体の約8割が完了するなど、 事業の進捗が図られていること。

以上より、本事業を「継続」し、鉄道と一体となった利便性の高いまちづくりを推進する。

【別紙様式4】



【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番号	3	事業名	П	土地区画整理事業		路線又は箇	所名等	柏北部中央地区		
事業化	上 年 度	H11 年	度	用地着手年度		_	工事着手	年度	H14 年度	

【再評価の概要】

再評価実施年度 (基準年)	H26 年度	換地処分 年度	R4 年度	対応方針	継続
B/C	1.8	総費用	1,480億円	総便益	2, 703 億円
(ヘドニック)	(2. 6)	(ヘドニック)	(678 億円)	(ヘドニック)	(1, 795 億円)

※上段:全体事業 下段():残事業

再評価時の委員会の意見及び当時の状況

継続が妥当

委員会からの意見は特になし

再評価時の進捗状況及び再評価時想定の5年後の進捗状況

	計 画	進捗状況	5年後の想定進捗状況
	(H26)	(H26 末)	(R1 末)
全体事業費	963.0億円	465.8億円(48.4%)	862.1 億円(89.5%)
移転戸数	247 戸	123 戸 (49.8%)	241 戸(97.6%)

【再々評価の概要】

再評価実施年度 (基準年)	R1 年度	換地処分 年度	R4 年度	対応方針	継続
B/C	1.8	総費用	1,740億円	総便益	3, 194 億円
(ヘドニック)	(2. 6)	(ヘドニック)	(487 億円)	(ヘドニック)	(1, 266 億円)

※上段:全体事業 下段():残事業

現在の進捗状況

再評価後の

経過

及び

処理状況

	計 画	進捗状況(令和元年度末見込み)
全体事業費	963.0億円	672.3 億円(約70%)
移転戸数	247 戸	187 戸(約76%)

・平成27年度:第5回事業計画変更(区画道路等の変更)

・平成28年度:2号調整池(柏の葉アクアテラス)完成

・平成29年度:第6回事業計画変更(土地利用計画等の変更)

・平成30年度:「柏市立 柏の葉中学校」 開校

都市計画道路「船戸若柴線」供用開始

都市計画道路「十余二船戸線(都市軸道路)」の国道 16 号アンダー

パス工事着手

• 令和元年度: 1号調整池完成